

平成 24 年度まちづくり懇談会会議録【町部地区】

日 時 平成 24 年 7 月 19 日(木) 19:00~20:45
会 場 町部地区センター
参加者 56 人

市長からの「菊川市が進めるまちづくり」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました

(1) まちづくり全般に関する意見交換

地区自治会からのご意見・ご質問

駅南地区の将来計画について

車がないと住めない街になる、通勤する人がどこで食事をしているか、中心街に住んでいる人ほど不便になるという印象を得た。次の時代に向けて夢のようなプランはあるか

コミュニティセンターについてこれできないと区画整理はできたとはいえない。平成 8 年頃の第 3 回の説明会では役場の向かいにコミュニティセンターと称して活性化の中心とすると説明されたが、現在は計画がありませんという回答が送られた。前向きな意見をお願いします。

市長

コミュニティセンターの件についてですが、現在は仮設店舗兼住宅として利用した建物が市役所東側にあり、その一部を区域内的の自治会が使用しております。事業が全て終了したわけでない。行政主導ではなく、なかで生活している皆さんのご意見を伺いながら協議しましょうとなっております。

平成 8 年頃の話がありましたが、平成 10 年頃、商工会が有効利用させてほしいという話があり 5 年間のブランクもありました。

総務企画部長

駅前商店街の再生・支援についてですが、本市では商店街の活性化と地域の賑わいの形成を図るとともに、市街地で暮らす高齢者等の生活の利便性を向上させることを目的に、空き店舗を活用して小売業等を行う方に、店舗の改装費、2 年間分の店舗賃借料を補助する制度である「新規店舗参入補助金制度」を平成 23 年度に創設しました。

昨年は、制度を活用していただくため、広報紙、ホームページはもとより、商工会や観光協会だけでなく宅建協会に加入している不動産業者等に情報提供し、周知に努めてまいりましたが、問い合わせは何件かあるものの、まだ成果には結びついてはおりませんが、本制度を地域の賑わいを創出するための1つの手段として、位置付けておりますので、より良い制度として多くの方にご利用していただけるよう、より一層の周知に努めてまいります。

また、街中の活性化を図るため、青空市、夜店市、祭典などのイベントを引き続き実施し、例年菊川運動公園で実施している「ODORA THE きくがわ」についても内容、開催場所なども検討し、皆様のご理解ご協力をいただき、より良いものにしていきたいと考えております。

次に青空市、夜店市、祭典などイベント時の駐車場、トイレなどの今後の整備についてですが、現在、駅南地区周辺の公衆用トイレについては、駅前広場と駅南5号公園に設置しており、駐車場については、市営駐車場が1箇所ございます。

トイレについては、当初はすべての公園に設置することも考えておりましたが、地元自治会の意向により整備しなかったという経緯もございます。今後の整備計画はトイレ、駐車場共に現時点ではございませんが、既存の公衆用トイレ・市営駐車場、市役所駐車場及び市役所職員駐車場を有効に活用していきたいと考えております。

なお、イベント時などにはトイレについては、必要に応じ、仮設などでの対応を考えており、駐車場については、区域外に確保し、シャトルバスでの輸送など工夫していきたいと考えております。

雑草の処分について

自治会やボランティアで草刈をしているが雑草の処分に困っています。センターに運ぶにもトラックがないとできない。掛川市ではパレットが用意されているらしい。HPで村田建設が行っているとのことだが2年前にやめたらしいので、修正をお願いします。

総務企画部長

まず、個人所有の空き地の草刈については、個人敷地であり、土地所有者の原則管理となり、行政が介入することは難しい状況となっております。市のごみ処理における刈草の処分方法についてですが、少量であれば、なるべく乾燥させ指定袋に入れてごみステーションに出していただき、多量であれば、掛川市にある環境資源ギャラリーへ持ち込んでいただくという方法になります。

なお、質問のありました掛川市のコンテナ回収の件についてですが、掛川市に問合せたところ、回収するものは、「剪定枝」で、コンテナ設置費用を自治会(区)に負担を頂き、市は処分費を負担しているとのことでありました。コンテナ設置による刈草回収については、目的物以外の投棄が予想され、費用負担の面からみても、現状の処理方法が望ましいと考えております。

次に公園管理についてですが、規模の小さな公園は、「地域の庭」として、周辺住民の方のやすらぎ、憩い、活動の場として利用されるよう公園が整備されており、除草・清掃活動を通じてコミュニケーションを図り、愛着のわく公園になるよう、最寄りの自治会へ管理委託契約の締結をお願いしております。ご同意頂いた自治会の皆様には、公園の除草、清掃、ゴミの処分を日常的に行っていただき、大変きれいな公園を維持していただいております。

なお、個別に公園管理委託に関する内容のご不明点等がありましたら、担当課の都市整備課へご連絡をお願いします。今後も、地域との協働による公園の維持管理体制を図って参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

屋外同報無線の改善について

朝の女性の声の無線は聞き取りやすいが、お昼の男性の声は聞きとりにくい。安全課は、スピード感を持って、現状を確認し改善してほしい。すばやい対応をお願いします。

総務企画部長

聞き取れない具体的な地域、状況を安全課までご連絡ください。スピーカーなどの不具合なのか、建物による影響なのか早速確認したいと思います。

震災瓦礫の焼却処分の現状と菊川市の取り組みについて

市長の視察や、西方・棚草の最終処分場近隣の人が災害廃棄物の現状確認をしたことについて、自分たちにはそのような情報が届いていない。

総務企画部長

静岡県知事の県内施設の余力1%協力を始まりまして、環境省からの協力要請、市長会・町村会の試験焼却への取組に対する共同声明などによりまして、4月初旬に静岡県が広域処理の全体計画を公表したところであります。その後4月中旬に入り、焼却施設近隣の西方地区対策委員会と最終処分場近隣の棚草自治会に対して、災害廃棄物の現状説明を行いました。また7月6日には、西方地区及び棚草自治会の皆さんと岩手県の大槌町・山田町の被災地及び破碎選

別施設の現地視察を行い、関係者との意見交換を行ったところであります。当菊川市は、お茶処でもあり風評被害や放射能などの課題を踏まえ慎重に議論し、共同運営する掛川市と同一歩調で試験焼却の可否の判断をしていきたいと考えています。

生活環境部長

情報の提供でございますが今回のまちづくり懇談会においてはじめて紹介させていただきました。震災瓦礫の情報につきましては、現況ということで連合自治会の役員会のほうにお話をさせていただきました。そして、各地区の自治会長から市民の方々に、と理解しておりました。そして6月の連合自治会でその情報を連合自治会長さんが意見を聞いていただいて、会議の中で伺ったものを会議録としていただいております。今回の、視察の件につきましては、8月の連合自治会の役員会でご報告をさせていただきたい。

駅北商業地域完成後の交通の流れ、量をどのように推測し対応するか

駅北商業地域が完成するというところで、朝日線と柳坪線が交差するところに信号機を設置するということですが、人や車の交通量・流れが変わるのではありませんか。どのような計画を立てているか。緑ヶ丘の下の交差点(柳に入っていく道)を緑地化しているが道が狭くなっている。駅北の改札を設置する改良、改修はできないか。

総務企画部長

現在の車両交通は、主に朝晩の通勤帯に主要地方道吉田大東線を牧之原方面から西に向かう車両が、東海道本線潮海寺踏切を渡りまして、潮海寺地区に入り柳地区へ出る通過車両が多くございます。市道朝日2号線の開通によります、交通量の増加や通行ルートについては、先ほどの潮海寺踏切からの通過交通が、市道朝日2号線を通り市道柳坪1号線をとおり、掛川方面へ向かっていくものと推察します。

事故対策につきましては、市道朝日2号線と柳坪1号線の交差点に、新規に信号機を設置し、市道朝日2号線と主要地方道吉田大東線交差点には信号機の改良を図り、交通の円滑化を図り交通事故を未然に防ぐ対策を行ってまいります。

浜岡原子力発電所再稼動について

太平洋ベルト地帯は経済の最重要地域でもある。被災すると経済的、人的被害も大きいと予想され、また、10km 圏内であるため住めなくなる。再稼動につ

いては慎重な答弁をお願いしたい。

市長

浜岡原子力発電所の再稼動についてですが、第4次想定が出ていない、国から福島原発の検証が行われていない、正式に国から隣接市である菊川市に正式な申し入れはない。これらのことより、現時点におきましては再稼動について認める気持ちはない。

会場からのご意見・ご質問

柳町自治会長

瓦礫の件につきまして連合自治会のときに話がありまして、そのときは皆さんの雰囲気を確認してくれという程度の話でしたので、班までは伝わっていないと思います。

生活環境部長

定例連合自治会のときに聞いたところ、おろして伝えていない自治会もあると聞いた。私どもは方針を出すということではなく状況をお伝えしたつもり。全部に伝えられていないと感じています。

柳町自治会長

ハレーションによる影響を心配しているかと感じていた。はっきり話をしていないので、はっきりした話を欲しい。

生活環境部長

状況も変わり、視察での意見も伺っているので、連合役員会で報告し、班のほうへ伝えていただくように連絡します。

柳町自治会：(男性)

浜岡原発停止されている。大臣より中部電力あての文書によれば「30年以内にM8程度の想定東海地震が発生する可能性が87%と極めて切迫していることとされており、大規模な津波の襲来の可能性が高いことが懸念されることから、津波に対する防護対策及び海水ポンプの予備品と空冷式非常用発電機等の設置についても確実に講ずることを求めます。またこれらの対策が完了し、原子力安全・保安院が評価・確認をすれば再稼動が可能との内容になっています。つまり「津波に対する防護対策」、「海水ポンプの予備品確保」、「空冷式非常

用発電機等の設置」の3つの対策を行い、それを原子力安全・保安院が評価・確認すれば再稼動が可能との内容になっている。そこで伺いたい 中部電力が対策して保安院が確認した場合、すぐに再稼動されるのか、再稼動に当たって関係市町村に意見を求められるのか、求められるのであれば制度的根拠を説明していただきたい。 意見を出す場合は菊川市として出すのか、あるいは浜岡原子力発電所安全等対策協議会として議論して意見を出すのか。 出した意見は担保されるのか。例えば、菊川市としては「再稼動は認められない」との態度表明をした場合には、原子力安全・保安院の評価・確認がされた場合でも再稼動はないと判断していいか。市民の理解をどのように判断するのか。

市長

住民理解の確認については基本的には議会の意見となります。したがって議会の中での判断を仰ぐということです。

企画政策課長

浜岡原発の停止は法律に定められたものでない、という状況から、意見を求められるかということは今のところわかりません。動かす以上意見の照会があってよいと思います。その場合、立地なのか、いままでの4市以外のさまざまな市町からも意見が出ているためこれも含めるのかなど課題が多いと考えられます。菊川市が仮に認めないと言った場合どうなるかというのも判断し辛いと考えられます。国が安全上不安があるとして止めたという事実があるため再稼動へのハードルは高いと感じている。判断できる「状況ではないと稼動へ意向を動かすのは難しいと考えられます。

(庁内で議論したわけではなく担当者としての考え)

柳町自治会：(男性)

大臣と中電の文書のやりとりをみると、対策が確認されれば再稼動がゴールとなっているが、地元の関係市長の発言が求められるのかははっきりしていない。また、知事との確認書は事前了解事項がないという。自治体との了解を得ることとなるような努力をお願いしたい。

企画政策課長

前例がない、制度に則ってない要請。どう扱われるかわからない。心配の声を上げていくしかない。

一般男性

JR 菊川駅前に放置自転車がたくさんある。議会報告会でいったら対策として看板を置いてもらえました。最初のころは効果があったが、最近は効果が薄れている。規範意識・モラルが低下している。一度現状を確認してもらいたい。放置自転車は学生によるものが多く、青少年のモラルに不安を感じています。青少年たちにしっかりと指導してモラルを教えるべきだと思います。

総務企画部長

駅前周辺を確認し何らかの対応を検討していただきます。中学生の交通安全教室などを通して不法駐輪を注意していきます。

柳町自治会 (男性)

下水道事業について、先日事業説明会に参加した。平成 22 年にも説明会があった。環境をよくするのは住民の努めと感じ、住民を守るのが行政だと感じていた。金額的な負担があると聞いてはいたが、水道料金が使えば使うだけ増える、およそ 1.7 倍まで大きくなるという。下水管を利用する人が負担をするのだという。接続料金、水道料金、管を引く工事費・メンテナンス費用など大きい。いつかは全員が負担することになるため、接続の時期に差が出ることは公平性の面からも対策が必要だと思います。今までの経過や、他の市町村の様子も加えて対応の方針をお聞かせ願います。

生活環境部長

7 月に説明会を実施させていただいた。公共マスへの接続にしないとイケないのかと質問が出た。法的に義務はあるが、強制的な執行、命令的なことは行っていないと説明した。24~29 年にかけてやっていくので料金設定について説明した。料金負担は受益者負担とっており、上下水道料金としてご負担をお願いしております。1 万円に対して、1 万 7 千円、1.7 倍。17 年度からの経緯で、減価償却、建物建築費などから算定されたと思っている。生活環境を改善して水質汚濁をなくしてきれいな川にして後代つなげていきたいということで環境基本計画に沿って整備している。ぜひとも皆さんにご理解いただきたい。接続率 79% で、後 2 割の方に接続いただけるようにご訪問もさせていただく。

緑ヶ丘：一般男性

市の地域防災計画が修正されて、震度が変更されて震度 7 となっております。この変更に伴っての対応について自主防災会への連絡がありません。また自主防災として行うことについても説明がありません。防災計画書の中に予知有り、無しの 2 種類の対応が違っているが、自主防の対応は変わってくる。公民館公

会堂が先で、市の指定する避難地に行くのはその後だと思う。行政の自主防の関与を厚く、充実強化をお願いしたい。現実に対応した防災活動の基準としてマニュアルを示してほしい。現在あるマニュアルは平成 18 年度のもので、もう少し明確な形で整備する必要があると思います。

駅北の商業地区の区画整理について、具体的な整備計画はないという返答がありました。大型商業施設が誘致されるのであれば地域の整備計画は先行投資型で地域整備を行ってほしい。市街地の活性化も併せて後期計画に盛り込んでほしい。市債が減ったのは評価するが、積極的な投資もお願いしたい。

総務企画部長

まだ、第 3 次想定による想定しかありません。そのため第 3 次想定に沿った自主防訓練を行ってほしい。自主防災に対する支援については積極的に行ってほしいと思います。

防災活動のマニュアルが 18 年度のものだということですが、担当課に指導して最新のものにして対応してほしいと思います。

建設経済部長

駅北の開発は先行投資して積極的にということですが、効果、水治め、財政など多くの課題があるため、地域の皆さんと相談しながら駅周辺地域の調査研究を進めていきます。駅南は歩行者専用道路もあるが、空き店舗増えているのが現状で、空き店舗対策補助金等を周知し、これまで以上に努力していきます。

企画政策課長

3 月 31 日の発表は、国が出した地震の想定もので、これに基づき津波など出し、その後、地域防災計画の本格的な見直しになっていきます。

緑ヶ丘：一般男性

被害想定云々ではなく、自主防への対応策をしっかりと指示してほしいというのが趣旨です。

企画政策課長

地域の力は必要となります。防災担当に伝えてまいります。

市長

駅北は過去にも 3 回ほど調査研究しているが、課題があっても進まなかった。駅北開発推進委員会で積極的に取り組んでいただき、JR アンダー、西方川の

整備を先行し、水治めがされてきた。これからどう整備をしていくか、調査研究をしていく。ご理解をいただきたい。

閉会（20:45）